

# 農業委員がきまりました 会長に曾山氏を再選



任期 一年  
満了に よる月 八月  
委員 曾山 弘  
業委員 阿部忠五郎  
委員 野内 敏政  
委員 後藤 昭英  
委員 坂井 一郎  
委員 伊藤 寛  
委員 長沼 清一  
委員 高木 喜一  
委員 間島幸太郎  
委員 藤村 良平  
委員 金子林 一郎  
委員 曾山 佳夫  
委員 野内 藤枝  
委員 渡辺仁三郎  
委員 大関 一郎  
委員 小林忠一郎

は、去る七月七日に告示され、八日午後五時で立候補が切り込まれたが、立候補者が定数を超えなかったため、十四日の選挙会で十人の無投票当選が決まりました。また、公選以外の六人の推せん委員も七月二十日にそれぞれ選任され、これから三年間の農業指導的な役割を担う新しい農業委員の顔ぶれが決まりました。

以上十名は、選挙による委員。農協推せん 農協推せん 共済推せん 共済推せん 以上十名は、選挙による委員。○金子林 一郎 ○曾山 佳夫 ○野内 藤枝 ○渡辺仁三郎 ○大関 一郎 ○小林忠一郎 ○伊藤 寛 ○坂井 一郎 ○後藤 昭英 ○野内 敏政 ○阿部忠五郎 ○曾山 弘

## 稲作被害調査

新幹線高架橋によって生ずる日照障害等の気象条件の変化が水稲収量に及ぼす影響を明らかにし、今後その対策を講ずる基礎資料とするため、今秋から開通までの三ヶ年間調査を行なうものです。

この調査は、県が鉄道公団より依頼を受け既に構築された関係市町村九つ、その管轄する六つの農業改良普及所ごとに五地区の計三十地区で行なうものです。調査場所は無作為に、また調査地点は田面から防音壁までの高さの〇倍、一倍、二倍、四倍のそれぞれ両側の地点でしかも同一品種にできるだけ統一して調査が見かけたらすぐ警察署に連絡をしましょう。

本村と中之口村との五地区の選定については現在、検討中であり行なわれます。調査項目については、一坪刈りによる収量調査の外、成熟時の稈長、穂数、倒伏程度、病害虫の発生被害、生育登熟状況等の関係農家よりの聞き取りも行なうこととなっておりますのでご協力をお願い申し上げます。

## おでかけは

### ひと声かけてカギかけて



一年の苦 害を受けてからでは遅すぎます。 労が実って 次の点に気をつけて、すばらしい 農家の皆さま 秋を迎えましょう。 〇お出かけのときは、必ずカギを 〇お出かけのときは、必ずカギを 〇お出かけのときは、必ずカギを 〇お出かけのときは、必ずカギを

## 第七回西蒲原地区消防操法大会 健斗!! 第二位に

第七回西蒲原地区消防ポンプ操法大会が去る七月三十日巻町宮グラウンドで開催され、郡内十一ヶ町村の消防団から選抜された選手がその技を競い合いました。競技結果は、各町村とも日頃の訓練の成果を十分発揮し、甲乙つけがたいすばらしいものでしたが、昨年の雪辱を期す本村消防団第一分団第一の選手は、約一ヶ月にわたる訓練の成果をいかんなく発揮し、優勝候補の渦東村をおさえ優勝の巻子チームと同点2位に入賞しました。

- 大会成績は次の通りです。一位 巻町消防団 二位 月高村消防団 三位 渦東村消防団 四位 味方村消防団 五位 中之口村消防団 (以下省略)



巻町と同率二位と健斗の選手たち

## 鳥獣駆除の実施で 果実の出荷も好調に

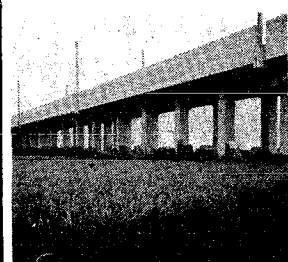


鳥獣駆除の実施で、果実の出荷も好調に。ムクドリ等から農作物への被害を防止するため九月四日まで鉄砲による駆除を実施しています。鳥による被害は特に果実に集中しており被害額も年々増加の傾向をたどってきたので昨年より行なったものです。昨年は十七回の実施でカラス、ムクドリ等千数百羽を駆除、果実の出荷も好調に推移しています。

お盆後の実施月日および区域

八月十八日	川前地区
二十日	川前地区
二十二日(火)	川前地区
二十六日(土)	川前地区
二十八日(月)	川前地区
三十日	川前地区
九月三日	川前地区
四日	川前地区

## 今秋より本村を含めて開始

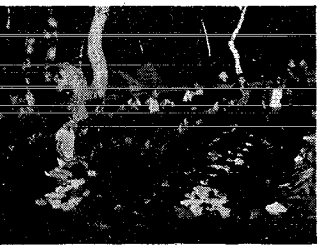


新幹線高架橋によって生ずる日照障害等の気象条件の変化が水稲収量に及ぼす影響を明らかにし、今後その対策を講ずる基礎資料とするため、今秋から開通までの三ヶ年間調査を行なうものです。

## 網戸の汚れはスポンジで

暑かった夏もそろそろ終りに近づき、夏のあいた、虫から私たちを守り大活躍してくれてきた網戸もすっかり汚れていることと思いませんか。この網戸について、汚れを落とすのは、なかなかやっかいなものでガラスをみがくようにゴシゴシと力を入れるわけにはいきません。網戸もいたためず、きれいにするには、まず大きめのスポンジ(又は、まず大きめのスポンジ)を二つ用意して、その二つで網戸をさみ込み、同時に動かすと、たちまちきれいになります。

## スポーツ少年団キャンプだより 「笹ヶ峰での二日間」



朝食前の正座

七月二十九日、三十日の両日、妙高高原笹ヶ峰キャンプ場においてスポーツ少年団の合宿を行いました。この合宿は身心の鍛練と共同生活のなかで連帯性を養い、自分達に責任をもたせることを目的として、毎年行っているもので、今年も参加は六十人でした。第一日目は、午前六時三十分、月高を出発、十一時に笹ヶ峰牧場に到着して牛を見学、十一時三十分、笹ヶ峰キャンプ場に到着、荷物の運搬を終え、持参のおにぎりで昼食。

その後テント設置、班長会議を終り、合宿日程が開始される。日が暮れてからのキャンプファイヤーでは第一部の厳肅な儀式に続き、第二部の各班でのユニークなスタンプ。歌、踊りが見事に調和していました。この夜の炎は、いつまでも子供たちの心に残っていくでしょう。第二日目、朝五時に起床、まだ肌寒いなかを元気にランニング、体操と軽い練習をやり、朝食。八時三十分から夏休み帳に取組む。九時三十分から班ごとで風作りを楽しむ。現代っ子は不器用だと言われるが、なるほどと思う。十二時に昼食をとり帰りの準備。午後一時三十分から風上げ大会をする。見た目には絵もうまく書け、なかなかの出来ばえなのだがいざ上げる段階になると、子供達必死に走っても風は「めいわくそうに」地面を引きつられてゆくばかり、それでも上げようと歓声をあげて走る姿は純粋さが感じられ、見ていても気持ちの良いものである。こうして二日間の日程を終えて二時三十分にはキャンプ場をあとに帰路に着きました。この二日間の経験から、やがて経験する激動の社会を乗り切るエネルギーを感じることができ、本当に有意義な合宿でした。